

<p>問1 問いづくり授業をご覧になり、どのような感想（一言で表現するとしたら、印象に残ったプロセス、よかったこと、疑問や課題、改善案等）をもたれましたか。</p>	<p>問2 教員と学生の関係性、学生同士の関係性、学生と学習テーマの関係性、それぞれについて、何かお気づきになったことはありますか。</p>
<p>意外に問いが多かったこと、選択する段階では、かなり類似した問いに収束している様子が非常に印象的でした。</p>	<p>教員はコメント(評価)してしまいがちなので、あのような場で、どのような声掛けが望ましいのか、を考える機会があることは、教員にとっても、学生との関係性を見直すうえで、非常に良い機会ではないかと感じました。</p>
<p>今回のテーマでは難しかったかもしれないが、問いに対する回答を調べたりする方がよいと思った。</p>	<p>もうすこし教員が説明する時間を少なくして、学生がワークに取り込む時間を十分に取った方がよいと思った。</p>
<p>→学生のニーズ、希望をうまく引き出されており、そのプロセスも大変参考になりましたし、得られた情報も今後授業を設計していく上で貴重な資料になると思います。</p>	<p>教員と学生間、学生間のそれぞれで別の形ではありますが、相互に考えを刺激する形で新しいアイデアが生まれてきているように感じました。この新しいアイデアがまた、学生たちの学習のテーマにもなっており、質問だしシートは今後の講義の参考になります。</p>
<p>大変興味深かったです。どんな発想なことでも聞いて立ててよという姿勢が非常に印象的でした。授業中に「問い」を積極的に出す姿勢は、学生が主体的に学ぶ姿勢を促しているように感じました。また、質問のテーマで授業の難しさを軽減し、先鋒生命と産業生命で連携選択を悩んでいる受講生に対して、問いかけの質問は、とても助けてくれたと思います。また、回答が得られたのも、とても良かったです。また、その場で質問の答えがわからなくなったとしても、授業中に質問した時の講師の答えを聞いてみるのもいいと思います。また、このワークシートを通じて、教員と学生の距離が近い印象です。1回生から、学生と教員がお互いに顔と名前を把握できているのは、今後の学生生活も充実すると思います。学生同士も積極的に意見を出し合える関係性という印象を持ちました。</p>	<p>私の見た限り、すべての学生が積極的に(笑しそうに)関わっている点は素晴らしいかと思いました。特に、最後他グループレポートの問いを全員が評価して回るプロセスが印象に残りました。</p>
<p>大変興味深かったです。どんな発想なことでも聞いて立ててよという姿勢が非常に印象的でした。授業中に「問い」を積極的に出す姿勢は、学生が主体的に学ぶ姿勢を促しているように感じました。また、質問のテーマで授業の難しさを軽減し、先鋒生命と産業生命で連携選択を悩んでいる受講生に対して、問いかけの質問は、とても助けてくれたと思います。また、回答が得られたのも、とても良かったです。また、その場で質問の答えがわからなくなったとしても、授業中に質問した時の講師の答えを聞いてみるのもいいと思います。また、このワークシートを通じて、教員と学生の距離が近い印象です。1回生から、学生と教員がお互いに顔と名前を把握できているのは、今後の学生生活も充実すると思います。学生同士も積極的に意見を出し合える関係性という印象を持ちました。</p>	<p>やはりアットホームなんだな、と感じました。1年生から全教員の顔を知れている、教員も学生の顔を見たことがあるというのが素晴らしいと思います。</p>
<p>卒業研究でアンケート調査を行うにあたり、学生が自分でアンケートの質問を考えることが出来る、結果として教員が調査票設計の大半に携わってしまう傾向がありました。こうした経路を通じて、学生が自分でアンケートの質問を考える良い訓練になるのではないかと感じます。</p>	<p>学生と教員の距離が近い印象です。1回生から、学生と教員がお互いに顔と名前を把握できているのは、今後の学生生活も充実すると思います。学生同士も積極的に意見を出し合える関係性という印象を持ちました。</p>
<p>学生のニーズをとらえた情報として、教育活動に参考になる点も、自分の研究テーマである政策科学として、政策形成のアプローチとしても参考になりました。互いの意見や想いをうまく引き出す方法だったと思います。今後政策ニーズを引き出すワークショップでも使わせてもらいたいと思います。</p>	<p>直感として役立つような気はしますが、具体的な活用方法は、まだ思いつきません。</p>
<p>1) 少人数での大学説明会(＠高校)、2) キャンパスアスタフのアイデアだし、3) 職員の見学研修など</p>	<p>企業でも、会議(ほとんど不要なものが多いですが)によっては応用できるものがあると思いました。</p>
<p>企業でも、会議(ほとんど不要なものが多いですが)によっては応用できるものがあると思いました。</p>	<p>企画会議など意見を出し合う際は、実践してみようと思います。問いを否定・評価・意見もせず、ひたすら出し続ける。そうすることで、今まで気づけなかった視点を発見できそうです。</p>

問3 問いづくりはご自身の教育研究活動/職務あるいはその他のことに役に立ちそうですか。どのような場面でのご活用がイメージできますか。

<p>着任前に、一度、高校の出前授業に行ってみて頂きましたが、改めて、私のこれからの授業で使えるようにもなっています。疑問を持つ思考を習慣づけることができれば、学生にとっても良い学びに繋がると感じます。授業で同じことをすれば、学生たちの中で手法が共有できますし、繰り返すことで、疑問を持つ思考が定着するようになると思いますので、部分的にも取り入れたいと思います。</p>	<p>大いに役立つ(役立つたい)内容でした。ただ、たとえば私が担当している「生物数学」のような授業では、ある程度の基礎知識がない限り、いきなり問いづくりは難しいのではないかと感じました。このような講義では、基礎知識について講義した上で、その知識(たとえば、行列の計算や微分)などがどのように生物等に利用できるかについて、問いを考えさせるようなアレンジが必要かもしれません。また、教えてください。</p>
<p>企業でも、会議(ほとんど不要なものが多いですが)によっては応用できるものがあると思いました。</p>	<p>企画会議など意見を出し合う際は、実践してみようと思います。問いを否定・評価・意見もせず、ひたすら出し続ける。そうすることで、今まで気づけなかった視点を発見できそうです。</p>



問いづくりワークの風景

省略